

TOPICS

「今年の関ブロは前橋市で開催」

平成29年度の関ブロ大会は群馬県前橋市で開催されます。すでに、関ブロ理事会で開催要項等が提示され、群馬県公連では開催準備を進めています。大会の概要を紹介します。



全体会場 前橋市民文化会館

- 1 **大会テーマ**
おいでよ公民館く地域に根づいた、開かれた公民館をめざして
- 2 **期日**
平成29年8月24日(木)・25日(金)
- 3 **主催**
全国公民館連合会 関東甲

信越静公民館連絡協議会
群馬県公民館連合会 大会
実行委員会

4 後援予定

文部科学省 群馬県他

5 参加予定 約800人

公民館職員 関係者 地区
住民他

6 会場

〈全体会〉

前橋市民文化会館大ホール
〒371・0805

前橋市南町3丁目62・1

〈分科会〉

1 前橋プラザ元気21

同市本町2丁目12・1

・にぎわいホール

・前橋市中央公民館ホール 学習室

2 臨江閣

同市大手町3丁目15

・本館 別館

レセプション

前橋テレサ

同市千代田町2丁目5・1



前橋プラザ元気21



臨江閣

7 大会日程
〈第1日目〉

12:30～13:50

開会行事(表彰等)

13:50～14:20

文部科学省説明

14:40～16:00

基調講演 講師 青山学院

大学 鈴木眞理 教授

16:10～16:30

閉会行事(大会旗引継ぎ等)

17:00～17:20

分科会打ち合わせ

18:00～20:00 レセプション

〈第2日目〉

9:00～12:00

分科会

(受付9:00 閉会12:00)

8 分科会10分科会

第1分科会(シニア世代と公民館)新潟市事例発表予定

参加費 3,500円

参加申し込み

指定の申込書で5月ごろの予定

11 大会事務局

前橋市中央公民館

担当・橋本・佐藤・六本木

〒371・0023

前橋市本町二丁目12・1

前橋プラザ元気21

TEL

027・210・2199

FAX

027・237・0722

E-mail:Chuo_komin@

city.maebashi.gunma.jp

「新潟県公民館月報」 毎月15日発行
いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711

「テニスを楽しむ」
 田上町テニス協会
 田上町公民館会長
 会田 一



田上町に住んで早いもので24・5年がたちます。土曜日・日曜日には、ラケットを持ってテニスコートに立っています。実力の方は、努力の甲斐も無く腕は上がり、楽しいテニスに変更をしています。私が所属している田上町テニス協会では、ごまどうふれあい広場テニスコートで、テニス教室を行なっています。

自然が一杯のところですが、ここ何年かは、テニスをする方も少なくなってきました。毎週日曜日にテニスをしていますので近郊の方は一緒にしませんか。また毎年10月にテニス大会も行なっています。大会には大勢の皆様に参加を頂いております。近くには「護摩堂山」、「湯田上温泉」があります。疲れた心を癒すには良い所です。お待ちしております。



昨年のテニス大会

視点

「避難所としての公民館その2」



事務局長
田原 理

災害時の公民館については、11月号に五井氏が「避難所としての公民館への期待」を寄稿されているので、続きという意味を込めて「その2」としました。

まだ、東日本大震災の傷跡が残っているところに、昨年は「熊本地震」が起き、騒ぎが収まらない半年後には鳥取県中部地震が起きました。テレビ報道では、災害現場とあわせて避難所には公民館への避難の様子がよく映されます。

- 1 公民館がいち早く報道される理由として、次の2つが考えられます。
 - 2 学校は避難所としての設備を準備するのに時間がかかる。

かる。

公民館は必要な表示さえできれば、すぐに避難民を受け入れられて避難所生活が始められます。学校は、体育館や教室が避難所としての機能を発揮するための準備が必要です。体育館であれば長期の場合、最初に区画づくりをしなければならぬでしょう。公民館はホールなどを除き講座室などは小さく区画されており区画づくりが比較的簡単です。

- 避難民が生活するときに必要なことは、
 - 1 トイレ
避難してきた人が最初に必要とします。公民館は利用者が便利にようにトイレが適正に配置されているところが多いです。また、身障者用トイレも設置している公民館も多くなりました。
 - 2 空調
冷暖房が完備している公民館がほとんどです。特に夏、冬には必需です。

3 支援体制

市町村職員がすぐに対応できます。常勤職員がいる公民館ではただちに避難所生活を開設できます。公民館職員となじみのある避難民がいれば信頼関係も早く作れます。

4 場所

公民館の設置場所は市街地にあることが多く、徒歩でも容易に避難できます。

5 プライベート

公民館は小部屋を設置していることが多く、特に女性で、授乳が必要な人や着替えなどのプライベートのことに対応できます。

公民館によってはこのような機能を備えていない所もあります。公民館によってはこのような機能を備えていない所もあります。が、今後は、災害に対応できる公民館を増やしていくことが大切だと思います。また、大人数に対応できないという弱点もありますので、避難所としての学校と公民館が利点を生かす手立てを確立していくことが重要です。

掲示板 HOT NEWS

長野県公民館連絡協議会では下記のとおり研修会を開催します。

未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会 ～住民主体の地域づくり「自治と協働のまちづくりをめざして」～

- 1 期 日 平成29年1月28日(土)・29日(日)
- 2 会 場 松本市 まつもと市民芸術館 松本市中央公民館
- 3 内 容 集会振り返り パネルディス

「長野県で研修会」開催

- カッション 全国リレートーク
- レセプション 分科会(11分科会)
- 4 参加費 無料 *レセプションは別途4,000円
- 5 交通 JR松本駅 徒歩5～10分 両会場とも専用駐車場なし
- 6 申込、問い合わせ 松本市中央公民館 TEL 0263-32-1132/FAX 0263-37-1153 E-mail:gakushu@city.matumoto.nagano.jp



まつもと市民芸術館

特集

第2回座談会「公民館の明るい未来〜公民館活性化への提言〜」その2

前号の座談会に引き続き第2回座談会その2を12月16日(金)に行いました。

1回目は、主に新潟市で活動を行っている市民一般の方々3人をメンバーにして意見交換を行いました。今回は新潟市以外から若手主体のメンバー3人から意見をお聞きしました。

第2回座談会メンバー

市川 睦美さん

(上越市)

横田むつみさん

(柏崎市)

中村 和人さん

(新発田市)

司会 田原 理

(県公連事務局長)

記録 高橋 達也

(編集委員)

柏崎市公民館長

島津 和子

(県公連事務局長)



熱心な意見交換:左から 田原、横田、市川、中村

(田原) 本日はお忙しいところ座談会にお出でいただきありがとうございます。ご出席いただいた3人の方々は、上、中、下越地区から選出された若い方々です。それぞれの地元で、現在さまざまな公民館活動等を実践されている方々です。

今日は、公民館の活動が地域づくりや人づくりにどのように生かされているか、また、これからの公民館がどうなっていて欲しいかなどを、若者の市民目線で意見交換をお願いしたいと思います。

(横田) 柏崎市の横田です。比角地区のコミュニティセンターで主事をして



横田さん

います。まだ1年少々を経験しかありませんがよろしくお願ひいたします。

(田原)

柏崎市はコミュニティセンターで公民館事業もやっていますね。県内でも珍しい形態をとっている市ですね。あとで悩みなどお聞かせください。

(市川)

市川です。上越市社会教育課勤務です。上越市は機構改革で分散していた仕事を社会教育課に統一しました。社会教育係りが社会教育・公民館を担当しています。合併後はそれぞれの地域性が異なるので、各地区公民館での講座の企画などは地区公民館職員と相談しながらやっています。

(田原)

機構改革の利点は何ですか。

(市川)

社会教育課になり、市民のための学びが系統的に統一できて講座がとてもしやすくなりました。市民にとってもわかりやすくなつたと思います。

(中村)

下越代表ということで来ました。新発田市の中村です。福祉の仕事をしています。新発田市のよさこい踊りを中心に活動しています。現在、代表です。練習は市内の公民館で、小学生から大人まで20人くらいいます。妖怪体操とかAKBとかジャンルを問わず踊っています。新潟総踊りに出ます。下駄踊りもやります。

(田原)

多彩な活動ですね。下駄踊りでは、樽たたきもあつて一つの文化になつていきますね。下駄の調達



中村さん



市川さん

はどうしていますか。

(中村) もう下駄を作っている所がないので、巻の下駄屋さんに特別に頼んで作ってもらいます。できた下駄をデーターサービスでお年寄りに見せると懐かしがって喜んでもらえますね。

(田原) 皆さん、素晴らしい実践的な活動をされていますね。

催しものをするときは市民がたくさん集まって活動を喜んでもらうことが第一ですね。しかし、私たちの真のねらいは市民に喜んでもらう、市民同士のつながりをつくることだといわれています。その点はどうでしょうか。

(市川) 事業にはそれぞれ目標を立てています。具体的には、
1 きっかけ作り(興味を深まる)
2 市を好きになってもらう
3 テーマを決めて学習する
4 地域を知り地域づくりにつなげる
5 自主活動を推奨する

(田原) 2の市を好きになるが、とても良いですね。先ず人集めだと思えますが現状はどうですか。

(横田) 参加者は親子、年配者が多いですね。30〜40代が少なく、次の世代につなげられないという大きな課題があります。

(中村) 関心を持ってもらうために、様々なツールがあることを知ってもらうことが大事。そのために子供のうちから参加して、1年やって結果が出ないから終わりではなくまず続けることが大事です。

「和童」が親子教室をやって気軽に体を動かす活動を続けました。市の広報、フェイスブック、チラシなどを喫茶店に置かせてもらったりいろいろやります。総踊り教室も開きました。午前は親子、午後はシニアという取り組みもしました。キーワードは、人とのつながり

です。これが家族でも地域でも一番大切なことではないでしょうか。

(田原) まったくそのとおりですね。

(市川) 公民館は同じ講座を続ける事ができないので、様々な体験講座などを企画します。講座後に自主サークルができて育っていけばよいのですが、そのときの視点はやはり仲間同士のつながりですね。支えあいや活動が好きになるということが良い自主サークルにつながると思います。

(田原) そうですね。次に、若者がどうしたら参加してくるかですが。

(横田) 夏に地区運動会があつて、そこには半数以上の若者世代が参加してきます。特徴的なのは、水球のまち柏崎ということでも水球選手がまちづくり活動をしています。大学でも水球の活動をしています。

(市川) 上越の謙信公祭など城下町として大きなイベントはありますが合併で市が広くなつて、高田周辺以外は関心がないのが実情です。市では、地域重視で上越市全体の流れを作ろうと「元氣の出るふるさと講座」をやっています。まちづくり課と公民館が協働しています。今年、3年目でパンフレット作製や発表会もやっています。歴史的、文化的なものに目を向けて地域の良さを見直す動きが出てきました。

(田原) 地域の動きに公民館がかかわっているということですね。

(中村) 新発田市でも歴史にかかわつてまちづくりをしている例があります。祭りなどのイベントには子供たちが多く参加しています。

(横田) 20〜40代の人たちに柏崎の魅力をどのように伝えるかが大きな課題です。

(高橋) 少子高齢化で若者が定着しない。特に若い

女性が少ない実情があります。働く場が少ないのも理由の一つです。

(市川) 子供が3人いますが、私の地域では三世帯家族が多く、待機児童もいません。シニア層の公民館活動への参加率が高いです。最近のお年寄りは元気な人が多い。農業とか漁業とかにかかわっていると意欲が出て元気になるのでしょうか。

(田原) 最後に、公民館でこんな活動ができたらか、夢があつたら聞かせてください。

(中村) 活動が楽しい時間になりそれを共有できることです。仲間として心のつながりができて苦しい時に頑張ろうと思える活動ができればいいと思います。

(市川) 市民から「何かやりたいんだけど」と言われたときにアイディアを即答できる職員になれたらいいなと思います。

(横田) センターが何をするとこころなのかを先ず市民に知ってもらいたいと思います。サークルは40以上あつて活発ですが新メンバーが入って活動がどんどん広がればよいと思います。

(田原) 来る人が元気になることが一番。そこから広がるための仕掛けが大事ですね。本日は、大変貴重な意見をたくさんいただきました。

ご多様な中、
終始、熱心な意見交換をありがとうございました。皆様のご活躍を祈念申し上げます。



記録 編集委員 柏崎市:高橋達也さん

実践記録シリーズ

226

「長岡市生涯学習推進大学の取り組み」

長岡市中央公民館

【はじめに】

長岡市は平成4年に長岡市生涯学習推進計画を策定して以来、「いつでもどこでも、だれでも学べる生涯学習社会の実現」を長岡市の生涯学習推進の目標にしてきました。関連施策を総合的に実施した結果、市民の自発的な学習意欲が向上し、創意工夫による多彩な学びの実践が数多く行われました。

その結果、学びの場である公民館やコミュニティセンターに生涯学習の企画・運営にかかわるリーダーが欲しいという強い願いが生まれ、その願いを受けて平成16年に長岡市生涯学習推進大学の設立が決定し、今日に至っています。推進大学と公民館、コミュニティセンターとの関わりは次のようになっていきます。

- 1 公民館・コミュニティセンターからそれぞれ1〜2名の推進大学受講生を推薦してもらいます。
- 2 その受講生の皆さんから2年間推進大学に入学して学んでいただきます。
- 3 修了したらそれぞれの公民館・コミュニティセンターで学んだことを還元しながら、生涯学習推進役のリーダーとして活躍してもらいます。

【推進大学の学習について】

- 1 学習期間
年間15回×
2年間＝30回
- 2 学習分野と
内容

① 生涯学習に関する学習・生涯学習に関する基礎的概念・学



楽しい参加型ワークショップ

習プランの作成・公民館、コミセンの見学

- ② リーダー育成に関する学習・リーダーに必要な資質と技能
- ③ 地域づくりに関する学習
・地域づくりに関する基本的事項・身近な地域づくり事例・館外学習
- ④ 一般教養
・地域の歴史、自然、産業、施設等に関する学習・人権に関する学習・館外学習

- 3 学習回数と時間 各分野 3〜4回
1回2時間 館外学習は1回5時間程度

【推進大修了生の活躍】

今年で推進大学は第7期生になります。今年を受講生は女性19名・男性36名、年齢は31歳から80歳までで合計55名です。

1期生から6期生までの修了生は319名です。そのうち公民館、コミュニティセンターで生涯学習推進員として事業推進に関わっている、あるいは関わった修了生の人数は222名になります。約7割の修了生が生涯学習事業の推進に関わっています。



修了式と修了証書授与

例えば、大島コミュニティセンターでは、文化学習部以外に健康づくり部、まちづくり部、青少年育成部、福祉部等に横断的に関わり、効果的な事業推進に貢献しています。

【課題】公民館・コミュニティセンターへのアンケートから

- 受講生確保に関すること
・受講生の希望者が減少してきている。
- 養成に関すること
・推進委員は公民館事業の企画推進に関わる大事な存在。養成は継続してほしい。
- ・推進大は受講生のスキルアップと人材育成に役立つことを理解してもらおうと共に、地域を動かすのだという自覚をもっと持たせてほしい。

- 学習内容に関すること
・地域貢献の意義と、もともとボランティア精神の醸成を図ってもらいたい。
- ・天に関すること、地に関すること、天地人をもっと学習してほしい。

【さらなる充実を目指して】

- ① 修了生から推進大に参画していただき、実際の推進委員としての活動を紹介してもらおう。
- ② 修了生向けのフォロワーアップ講座を開催し、修了生の情報交換と資質向上を図る。
- ③ 修了生同士のネットワークづくりの推進を図る。
- ④ 公民館とコミュニティセンターの連携強化を図る。

今年、②のフォロワーアップ講座を開催しました。受講生にも好評でした。今後も学習内容の地域還元を目標に取り組んでいきたいと思えます。(山川)



宮内コミセンでの情報交流会



楽しく踊ろう
五月会

五月会

五月会はフォークダンスの会です。来年で発足35周年、今年度は日本フォークダンス連盟より優良団体の表彰を受けました。

大概の方はフォークダンスというところ、高校時代を思い出すが、始めてみれば奥が深い、立派な運動です。多彩なフォーメーションと世界中の音楽、頭と身体はフル回転させないと付いていけません。もちろん誰でも簡単に踊れる曲もあります。

天寿園、温泉、県連行事など出かける事も有りますが参加も服装も自由、各々が出来る範



囲で楽しんでいきます。

年齢を重ねても、毎週水曜日から、加藤代々子先生のもとで、元気に踊り続けたいと願っています。

新潟市・五月会
賞谷幸志子 記

市役所へアオーレ長岡での
絵手紙展を目標にして

ひまわり絵手紙教室

ひまわり絵手紙教室は現在15人でさいわいプラザ3階で第1、第3木曜日に開いています。毎年11月は年賀状、12月は手作り絵手紙カレンダーを描くことに決めています。新し



長岡市・ひまわり絵手紙教室
片桐 キセ 記

い年を迎え、1月はお休みで、2月から教室が始まり、4月に2週間アオーレ長岡で開催している作品展に向けて絵手紙や巻紙、ひょうたんに自分の好きな絵を描いて楽しんでいます。

絵手紙は戴いた人が喜ぶ不思議な力を持っています。描く花、野菜、果物、風景などに感動し10年続いた、ひまわり絵手紙教室。これからも絆を大切にして続けて行きたいと思っています。

妙高市公民館(妙高市教育委員会生涯学習課)
生涯学習指導員 大西 明さん



公民館事業を担当する大西明さんをご紹介します。

大西さんは、生涯学習指導員として、平成26年4月からお勤めいただいています。

前職は、小学校長をお務めで、「社会教育主事」の資格もお持ちのとても頼もしい先輩です。

相談にも気軽に乘っていただき、的確なアドバイスに、いつも助けられています。

大西さんが担当する「妙高はねうまカレッジ『まなびの社』」は、市民の皆さんに広く「まなび」の機会を提供することを目的に今年度から始まった生涯学習講座で、初年度から多くの受講生を集め、大変好評です。

社会教育主事としての専門性を活かし、ますます多様な「学び」を提供していきたいと張り切っています。

週末には、愛車を飛ばして新潟市に住む外孫の顔を見に行く「おじいちゃん」の顔になります。

(妙高市公民館(妙高市教育委員会生涯学習課) 山口 修 記)

上越市社会教育課
公民館主事 西嶋 明子さん



上越市立諏訪地区公民館に勤務の西嶋明子さんをご紹介します。

西嶋さんは、平成25年度に諏訪地区公民館主事として従事し、以来諏訪区の公民館事業の企画・運営、施設の管理を担っています。諏訪区のこと大好きで、学校や青少年団体、まちづくり組織にも積極的に関わり、地域の方々からも頼られている西嶋さん。企画する講座には諏訪区の魅力や情報、住民の皆さんに役立つ内容が盛りだくさんに詰まっています。

また、公民館を利用される方とお話をしたり、講座で作った作品を飾ったりと、親しみやすい公民館であるために日々心を配っています。公民館に来られる皆さんは、西嶋さんと会うことも楽しみの一つになっています。

様々なところで活躍し、時には忙しすぎることもあるようですが、これからもよろしくお願ひします。

(上越市社会教育課 主任 市川 睦美 記)

素顔拝見

お元気ですか

「絵手紙から感性を学ぶ」

長嶋 洋一

(佐渡市)



38年間の教職生活を終え、ホッとしていた時に公民館の講座案内が目にとまりました。「ハタでいい。ハタがいい。」という謳い文句に誘われ、軽い気持ちで受講しました。それから4年間、上達はしませんが無理をせず楽しみながら取り組んでいます。集まった方々は、60歳代前半から70歳代後半の10人余り。この職業経験が異なる同好の集まりを、はたの会と名付け、農繁期を避けた冬場を中心に年間8回程度、毎回テーマを設けて活動をしています。例えば、「一筆書きの絵手紙に挑戦しよう」、「のびのびと大きく墨で大切な人を書いてみよう」、「今の楽しみは○○すること」をかいてみよう」などです。

※お元気ですかのコーナーは現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

絵手紙は絵と短い言葉で相手に思いを伝えるものですが、皆それぞれの感性と個性が文字や言葉、題材選択や線・色使いに現れます。(こんな見方捉え方もあったんだな、(素敵な言葉だな、お互いの作品を鑑賞することで自分の感性が磨かれます。また、絵の題材を探すことで季節や自然に対して敏感になり、身近な物をよく観察するようになります。仲間と共に活動することで、絵手紙力レンドーを制作したり絵手紙リーを楽しんだりもしています。熱心で褒め上手な講師先生の励ましの下、地域の仲間とのご縁を大切に細く長く続けたいと思っています。

恵贈資料紹介

「文芸しばた 第42号」

発行 新発田市中央公民館

「文芸しばた」は新発田市内に在住・通勤・通学している人たちの作品を掲載しています。年1回の発行ですが42年間継続していることになりました。

作品は投稿者369人で、全887点中、小中学生の作品が415点掲載されており、県内市町村の中でも最高の文芸誌になっています。

その内容は、詩、短歌、俳句、川柳、随筆、小説の6部門で構成されています。随筆、小説などは



読者をひきつける出来栄でレベルの高さがうかがえます。

全編284ページにわたり、一般の部と小中学生の部がそれぞれ6部門で構成されています。表紙

information

全国公民館セミナー 参加者

1月16日(月)～18日(水)に開催されるセミナー(代々木オリンピックセンター)に県内各地から推薦を受けていた参加者が決定しました。

新発田市、長岡市、小千谷市、新潟市の公民館職員5名が新潟県として参加することになりました。公民館月報2月号に参加レポートを掲載する予定です。

雪によって生ずる諸問題解決のため、取り組んでいます

新潟県をはじめとする豪雪地帯は、豊富な水資源や良好な自然環境に恵まれ、食料やエネルギーの供給地として、我が国を支える重要な役割を担っております。協議会会員18市町村は、緊密な連携を図りながら一致協力して特別豪雪地帯の住民生活の向上を図るため、取り組んでいます。

新潟県特別豪雪地帯市町村協議会

会長(妙高市長) 入村 明(会員18市町村)

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館(新潟市長会内)

TEL 025(284)3434 FAX 025(285)3135

事務局長のつぶやき

近頃のシニア層は元気で活動的だと言われます。わが妻も習い事が多く、お茶・お花・パッチワーク・昼食会などで毎日のように出かけます。その上、エアロビクスも(もはや無駄。聞こえないような小さな声で)。

昼間の疲れが出るのか夜は爆睡。
「妻爆睡 ダンナは一人ポチと寝る」
1年間のご購読をありがとうございました。
本年もよろしくお願ひいたします。(田原)